

2025年度 博士前期課程入学者選抜(Ⅰ期)  
学 力 検 査

専 門 科 目  
(英語・英語教育コース)

英 語 教 育 学

## [英語教育学]

以下の3問に解答しなさい。解答は解答用紙に記入しなさい。

1. 中学校または高等学校の英語授業で行う新出文法事項の導入について、日本語400字程度でまとめなさい。
2. 英語の学習意欲と学習意欲を高める指導について日本語400字程度でまとめなさい。
3. 次の5つの用語をそれぞれ150字程度の日本語で説明しなさい。
  - ① communication strategy (コミュニケーション方略)
  - ② discourse competence (談話能力)
  - ③ group work (グループ学習)
  - ④ receptive skills (受容技能)
  - ⑤ summative test (総括テスト)

2025年度 博士前期課程入学者選抜 (I期) 学力検査  
専門科目 (英語・英語教育コース) 英語教育学

《解答・解答例》

論述試験のため出題の狙いを示す。

1

【出題の狙い】

本設問は、中学校・高等学校における英語授業において新出文法事項を導入する際の基本的な指導方法について理解しているかを評価することを目的とする。具体的には、文法指導を単なる規則説明としてではなく、文脈提示、意味理解、学習者の気づきの促進、そして言語使用の機会の提供といった指導過程として捉えることができているかを確認する。また、第二言語習得研究やコミュニケーション重視の英語教育の観点を踏まえた指導観を有しているかも評価の対象とする。

2

【出題の狙い】

本設問は、英語学習における学習意欲の概念を理解し、それを高めるための具体的な指導方法について説明できるかを評価することを目的とする。学習意欲に関する理論的背景(動機づけ、自己効力感など)を踏まえつつ、教育現場における実践的な指導方法を結びつけて説明できるかを確認する。また、学習者中心の授業観や協働的学習の重要性について理解しているかも評価する。

3

① communication strategy (コミュニケーション方略)

【出題の狙い】

第二言語習得研究における基本概念であるコミュニケーション方略について理解しているかを確認する。また、言語能力が不十分な状況でも意味伝達を図る学習者の戦略的行動について説明できるかを評価する。

② discourse competence (談話能力)

【出題の狙い】

コミュニケーション能力モデルにおける構成要素の一つである談話能力の概念を理解しているかを評価する。また、言語能力が文レベルだけでなく談話レベルでの運用能力を含むことを理解しているかを確認する。

③ group work (グループ学習)

【出題の狙い】

協働学習の代表的な指導形態であるグループ学習の意義と特徴について理解しているかを評

価する。また、言語学習における相互作用の重要性を理解しているかを確認する。

#### ④ receptive skills (受容技能)

##### 【出題の狙い】

英語の四技能のうち受容技能の概念を理解しているかを評価する。また、リスニングやリーディングにおける理解過程の基本的な特徴について理解しているかを確認する。

#### ⑤ summative test (総括テスト)

##### 【出題の狙い】

教育評価における基本概念である総括的評価の理解を確認する。また、形成的評価との違いを含め、学習評価の目的や役割を理解しているかを評価する。

#### 《出題の意図》

本問題は、英語教育学および第二言語習得研究の基礎的知識と、それを学校教育の授業実践に関連付けて説明する能力を評価することを目的としている。特に、英語教育における指導方法、学習者要因、教育評価、およびコミュニケーション能力に関する基本概念を理解しているかを確認する。設問 1 および 2 では、教育理論だけでなく中学校・高等学校における授業実践との関連を踏まえて説明する力を求めている。設問 3 では、英語教育学および第二言語習得研究における基礎用語の理解度を測定する。難易度としては、英語教育を専門とする学部卒業レベルの基礎知識を前提とした内容であり、大学院修士課程への進学を希望する受験者として必要な専門的基礎力を評価する問題である。